

女性活躍の推進を

答 エンパワメントに取り組んでいく



玉城 陽平 議員

問 女性活躍推進委員の設置など、女性のエンパワメント施策の充実を求めるがどうか。

町長 コロナで中止していた講座や交流会を再開するなど、引き続きエンパワメントに取り組んでいく。

問 国も女性活躍推進を進めており、交付金などもある。女性リーダー研修やIT人材育成などを結びつけながら積極的に活用を求めるがどうか。

企画財政課長 調査研究し、推し進めていく。



男女共同参画 (内閣府)

女性の就業環境整備を

問 全国の統計では妊娠前から働く女性の46・9%は出産退職をする。就業環境の整備

として「みなし育休制」の導入を求めるがどうか。

こども課長 新年度からの実施を視野に検討していく。

問 きょうだい別園状態の親の負担軽減が必要と考えるがどうか。

こども課長 同園へ転園しやすくする軽減策を検討していく。

※オストメイトの支援を

問 物価上昇に応じて、オストメイトへの給付支援の見直しは行ったか。

保健福祉課長 H19より見直しはしていない。

問 福祉用具の中でも、消耗品的性格で、かつ尊厳のある日々に必要なものは優先度高く見直しを検討してほしい。

保健福祉課長 財源の問題と検討すべき用具が多くあるが、近隣市町村と情報交換しながら、調査研究し検討していく。

NPO活性化へ支援を

問 住民の活動を応援する仕組みが必要だ。南城市や糸満市のように町民提案型のまちづくり事業への助成をしてはどうか。

町長 外部機関の助成の周知を強化し、町独自の助成金の設立も先進事例を調査研究していく。

問 地縁型の組織だけでなく、そこに包摂されない移住者や若者も巻き込んだまちづくりが重要だ。NPOの活性化、支援への取り組みが必要で、特に立ち上げ初期の支援を求めるがどうか。

町長 協働のまちづくりを掲げている町として、NPO等の参画は非常に重要なことである。支援していきたい。

※オストメイト：様々な病気や事故などにより、お腹に排泄のための「ストーマ(人工肛門・人工膀胱)」を造設した人